

【警告：特にご注意ください】

- コンタクトレンズをご使用前には、必ず本添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してから使用してください。
- 本添付文書は大切に保管してください。

コンタクトレンズは目に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズの取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながる可能性があります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。コンタクトレンズを安全に使用するために、本添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法を守ってください。

a) 装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差がありますから、眼科医に指示された装用時間を必ず守ってください。

b) 取扱方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズ保存ケース)は常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

c) 定期検査は必ず受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても目やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくとも眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

d) 少しでも異常を感じたら眼科医の検査を受けること

レンズをはめる前に、毎日、ご自分で目ヤニや充血がないか、またレンズをはめた後も、異物感などがなければ確認し、少しでもこれらの異常を感じたら、すぐに眼科医の検査を受けてください。

※万が一、破損などの不具合があるレンズを装用してしまったり、レンズが装用中に破損した場合は、自覚症状の有無にかかわらず、直ちに眼科医の検査を受けてください。

※レンズを適切に使用したとしても、以下のような眼障害が不可避的に発生する危険性があります。

- ・角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。
- ・コンタクトレンズを装用することにより酸素供給が低下し角膜新生血管、角膜浮腫などの眼障害の危険性が高くなります。

【禁忌－レンズを使用できない方】

<医学的禁忌例>

- a) 前眼部の急性および亜急性炎症
- b) 眼感染症 c) ぶどう膜炎 d) 角膜知覚低下
- e) 眼瞼異常 f) ドライアイおよび涙器疾患
- g) レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
- h) その他眼科医がレンズ装用に不適と判断した疾患

<社会的禁忌例>

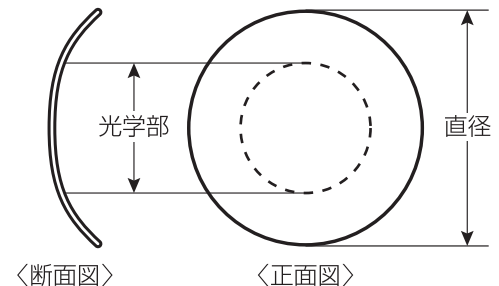
- a) 眼科医の指示に従うことができない使用者
- b) レンズを適切に使用できない使用者
- c) 定期検査を受けられない使用者
- d) レンズ装用に必要な衛生管理を行えない使用者
- e) 極度に神経質な使用者

<生活環境的禁忌例>

- a) 常時、乾燥した生活環境にいる使用者
- b) 粉塵、薬品などが目に入りやすい生活環境にいる使用者

【形状・構造及び原理等】

1. レンズデザイン



2. 組成

構成モノマー	:フルオロシリコーン
着色剤	:アントラキノン系着色剤
グループ分類	:グループⅢ (FDA)

3. 原理

コンタクトレンズに付加された頂点屈折力及びコンタクトレンズと角膜の間に存在する涙液により視力を補正する。

【使用目的、効能又は効果】**

視力補正

【品目仕様等】

物性

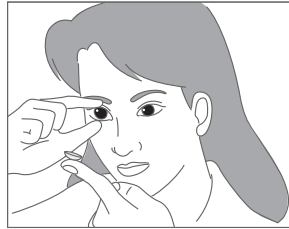
酸素透過性:	$49.8 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/\text{mL} \times \text{mmHg})$ (ANSI)
	$92 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/\text{mL} \times \text{mmHg})$ (FATT)
屈折率	:1.428
視感透過率	:88.2%

【使用方法】

レンズを取り扱う前に爪を短く切ってまめ、手指をせっけんでよく洗ってください。

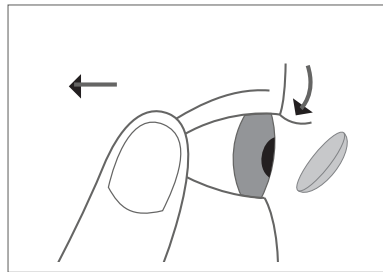
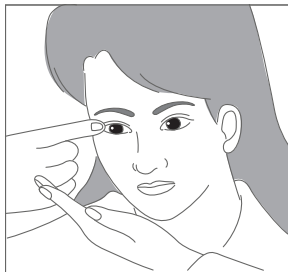
1. レンズのはめ方

- はめる目と反対側の手の人差し指の先にレンズをのせます。
- 鏡を見ながら、もう一方の手の親指と人差し指で目を大きくあけます。このとき、まつ毛のはえぎわに指をあてると大きくあけることができます。
- 鏡をよく見てレンズをゆっくりと目に近づけ、黒目の上にそっとのせます。この場合目を細めたり、まばたきしたりするとうまく黒目にのりません。
- レンズを黒目にのせたら、指をゆっくりはなし、まばたきをゆっくりしてください。
- レンズをはめたあとは、鏡を見て、レンズが黒目にのっているかどうかを確認してください。



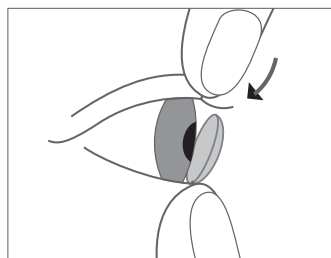
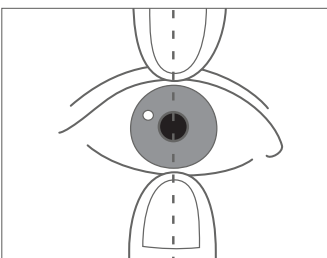
2. レンズのはずし方

2.1 レンズのはずし方①



- 鏡をよく見ながら目をできるだけ大きくあけて、レンズの位置を確かめます。
- はずす目と同じ側の手の人差し指で目じりを押さえ、レンズより大きく目をひらいたまま、耳側やや上方へひっぱってから、ゆっくりまばたきをするとレンズがはずれます。

2.2 レンズのはずし方②



- 鏡を見ながら人差し指で下まぶたを軽く押さえ、もう一方の手の人差し指で上まぶたを軽く押えます。このとき、まつ毛のはえぎわを押えます。
- レンズが下まぶたに入らないように人差し指で下まぶたを固定したまま、上まぶたでレンズのふちをひっかけないようにしてはずします。

3. レンズケア

- コンタクトレンズを装用していると、涙液中の脂質、タンパク質などがレンズに付着します。レンズケアをしないと、レンズについた汚れがとれなくなって、眼障害が発生したりレンズが使用できなくなるおそれがあります。
- レンズをはずしたあとには、必ずレンズケアを行ってください。
- このレンズには、弊社が指定するケア用品をご使用ください。
- ケア手順の詳細については、それぞれのケア用品の使用説明書および表示事項を必ず読んでください。

4. 定期検査

調子よく装用していても、知らない間に眼障害が発生していたり、レンズにキズや汚れがついていることがあります。定期検査は、眼障害の早期発見やレンズについてのキズや汚れの状態を確認するために大切な検査ですので、眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

5. 装用スケジュール

レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。

<装用時間>

1日目:8時間 2日目:10時間 3日目:12時間

4日目:14時間 5日目:16時間

以降:6日目から終日(16時間以内を目安に)装用をしてください。

<装用を中止した場合>

a) 1ヵ月未満の中止…中止する前と同じ装用時間で装用してください。

b) 1ヵ月以上の中止…検査を受けてから、指示に従って装用してください。

※上記は終日装用の一例です。

連続装用の場合とは異なります。

※装用スケジュールは個人差がありますので、必ず眼科医の指示に従ってください。

【使用上の注意】

- 病気で体調が悪い方、薬剤の服用や点眼が必要な方、妊娠された方は、レンズの装用に影響を及ぼす事がありますので、眼科医に相談してください。
- アレルギー疾患の方は、他の使用者よりも目や皮膚の疾患が起こりやすい場合があります。
- 目薬を使用するときは、必ず眼科医の指示に従ってください。
- 高齢者が使用される場合、ご自身で装着脱、ケアができないときは家族の方で補助してください。
- 小児にレンズを使用させる場合は、保護者の指導監督のもとに使用させてください。

【貯蔵・保管方法及び使用期限等】

保管方法

直射日光を避けて保管してください。

【包装】

1枚入り

【製造販売業者並びに製造業者の名称及び住所】*

株式会社エイコー

愛知県名古屋市西区則武新町二丁目18番15号

電話番号:052-586-6601

【お問い合わせ先】

<症状に関するお問い合わせ>

コンタクトレンズ装用にもなう目の症状などについては、処方を受けた眼科医にご相談ください。

<製品に関するお問い合わせ>

製品の品質には万全を期しておりますが、万一レンズや包装容器に異常を発見した場合には使用せず、眼科医・購入先にご相談ください。または、下記のフリーダイヤルにお問い合わせください。

株式会社エイコー お客様相談窓口

☎0120-288-102

受付時間/平日(月~金)9:00~17:30

<http://www.eiko-contact.com>